

「職業キャリア形成に関する調査」

正社員調査票

厚生労働省・要請調査

【調査の趣旨】

本調査は、企業の成長を支える従業員の成長過程を把握するため、(独)労働政策研究・研修機構(※)が、厚生労働省労働政策担当参事官室の要請を受けて行うものです。経営層と現場の結節点として、重要な役割を果たすミドルマネジャーについて、培った職業キャリアと現在の思考・行動特性等がどのように関連しているのかを分析し、労働者の職業キャリア形成のあり方を検討する上での基礎資料として参ります。これまでの仕事上の経験等についてご教示いただければ幸いです、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

【ご記入時のお願ひ】

- この調査票は、ミドルマネジャーのかた(部下を持つ課長(あるいは部長)相当職位の者、並びに部下を持たなくともそれに相当する者(専門職等)。役員は除く)がご回答ください。
- 設問への回答は、選択肢がある場合は該当番号に○をしてください。その際、「1つだけ○」「○はいくつでも」といった、回答数の指定にご注意ください。また、選択肢で「その他」を選ぶ場合は、なるべく具体的な内容をカッコ内にご記入ください。
- 問2および問4につきましては、該当数値を枠内にご記入ください。
- とくにことわりのない場合、2014年2月1日現在の状況についてお答えください。
- ご記入内容はすべて統計的に処理され、研究目的にのみ利用されますので、ありのままをご記入ください。
- ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、2014年2月25日(火)までに、郵便ポストにご投函ください。

【本調査に関するお問合せ先】

(調査票の記入方法や配布・回収について)

※本調査票の回収、データ化業務は、労働政策研究・研修機構が株式会社サーベイリサーチセンターに委託しています。
株式会社 サーベイリサーチセンター (HP: <http://www.surece.co.jp/>)

担当: 宮崎、磯部、水口 電話: 0120-966-025、受付時間: 月～金曜日 9:00～17:30

(調査の趣旨・目的について)

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 (※HP: <http://www.jil.go.jp/>)

担当: 渡辺、荻野 電話: 03-5903-6286、受付時間: 月～金曜日 9:00～17:30

I あなたご自身のことについて、おうかがいします

問1. 性別を教えてください。 1. 男性 2. 女性

問2. 年齢を教えてください。 歳

問3. 最終学歴を教えてください。

1. 高校卒
2. 短大・高専卒
3. 大学卒
4. 大学院修士課程修了
5. 大学院博士課程修了
6. その他

付問①. 問3で「選択肢2～5」を選択された方にうかがいます。専攻は何ですか。

1. 文系
2. 理系
3. その他 ()

付問②. 問3で「選択肢4～5」を選択された方にうかがいます。MBAを取得していますか。

1. はい
2. いいえ

II 勤務先について、おうかがいします

問4. 現在の会社で働き始めたのは、何年何月ですか。西暦でお答えください。

西暦 年 月 (回答例 2000年4月)

問5. 学校を卒業してから、今までに何回転職しましたか(○は1つ)。※出向は、転職に含まないでください。

1. 転職したことはない
2. 1回
3. 2回
4. 3回以上

問6. 現在の役職は何ですか(○は1つ)。

1. 部長相当の管理職
2. 部長相当の専門職
3. 課長相当の管理職
4. 課長相当の専門職
5. その他

問7. 部下の人数は何人ですか(○は1つ)。

1. いない
2. 1～5人未満
3. 5～10人未満
4. 10～20人未満
5. 20～40人未満
6. 40～60人未満
7. 60人以上

問 8. あなたの現在の主な役割は何ですか (○は1つ)。

1. 組織管理
2. ある程度定型的な業務管理
3. プロジェクト等の責任者としての業務管理
4. 新規事業やプロジェクトの企画立案
5. 自らも一員 (プレーヤー) として仕事をする
6. その他

問 9. あなたが管理職・専門職についたのは、同時期に入社した近い年齢の人に比べて早い方ですか、遅い方ですか。

1. 早い
2. 普通
3. 遅い
4. 比較する対象がない

問 10. あなたの個人の前年 1 年間のおおよその税込み年収を教えてください。

1. 300万円未満
2. 300～400万円未満
3. 400～500万円未満
4. 500～600万円未満
5. 600～700万円未満
6. 700～800万円未満
7. 800～900万円未満
8. 900～1,000万円未満
9. 1,000～1,200万円未満
10. 1,200～1,500万円未満
11. 1,500～2,000万円未満
12. 2,000万円以上

Ⅲ あなたのこれまでの経験等について、おうかがいします

問 11. 現在の職種は何ですか (○は1つ)。また、あなたはこれまで (※)、どのような職種 (仕事内容) を経験しましたか (○はいくつでも)。それぞれの経験年数とともに教えてください。

※転職等されている場合には、これまでの職業キャリア全体について回答してください。

現在の職種	これまで経験した職種	経験年数
営業・販売	1	年
対人サービス (看護、介護を含む)	2	年
マーケティング、調査・分析	3	年
経営企画・事業企画・事業開発	4	年
広報	5	年
人事・法務	6	年
財務、会計・金融専門業務	7	年
購買・物流・運輸	8	年
その他事務	9	年
製造・建設・生産管理	10	年
研究開発・技術・設計	11	年
システム企画・開発・管理運用	12	年
その他専門的・技術的業務 (医療、教育等)	13	年
その他 (具体的に)	14	年

付問. これまでに何回、配置転換、転勤、出向の経験がありますか (同一職種内での異動を含む)。

※転職等されている場合は、転職も回数に加えてください。

1. 1～3回
2. 4～6回
3. 7～9回
4. 10回以上

問 12. あなたはこれまでの職業キャリア全体で、どのような O f f - J T を受けましたか (○はいくつでも)。
※ O f f - J T とは、業務命令に基づき、通常の仕事を一時的に離れて行う教育訓練・研修のことです。

1. 役職別研修
2. 職種・職務別研修
3. 早期選抜研修
4. 資格取得のための研修
5. その他
6. O f f - J T を受けたことがない

問 13. あなたはこれまでの職業キャリア全体で、自己啓発を行ったことがありますか。

※自己啓発とは、勤務先の指示ではなく、就業時間外に自分の意思で行う、今の仕事やこれから就きたい仕事に関わる勉強のことです。

1. 自己啓発を行ったことがある
2. 行ったことはない



付問①. 自己啓発を、どのような方法で行いましたか (○はいくつでも)。

1. 大学・大学院の講座の受講
2. 専修学校・各種学校の講座の受講
3. 通信教育の受講
4. 講習会・セミナーの傍聴
5. 勉強会・研修会への参加
6. 自学・自習
7. その他

付問②. 自己啓発を行った目的は、何ですか (○はいくつでも)。

1. 現在の仕事に必要な知識・能力を身につけるため
2. 資格取得のため
3. 将来の仕事やキャリアアップに備えて
4. 昇進・昇格のため
5. 転職や独立のため
6. その他

問 14. 次に挙げられている経験について、これまでの職業キャリア全体においてどの程度重要だったか、教えてください。管理職になる前と、なった後の 2 つの時期について、もっともよくあてはまるものを以下 1～6 の中から、それぞれ 1 つずつ選んでください。

選択肢の意味： 1. そのような経験はない 2. 全く重要でない 3. あまり重要でない
4. どちらともいえない 5. 重要である 6. 非常に重要である

困難な経験	経験内容						管理職になる前						管理職になった後					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
・スケジュールがタイトな仕事をこなした経験							1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
・膨大な量の仕事をこなした経験							1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
・プレッシャーの大きい仕事をこなした経験							1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
・自分の能力を超える仕事をこなした経験							1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
・頼る人がいない状況で働いた経験							1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
・周囲のモチベーションが低い職場で働いた経験							1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
・予算や人員等のリソースが足りない状況で働いた経験							1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
○ 自ら新しい何かを生み出した経験																		
・自分が中心となって社内に前例のないような仕事をこなした経験							1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
・自分が中心となって既存のやり方を全面的に見直した経験							1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

問15. 次に挙げられている項目が、今のあなたにどの程度あてはまるか、教えてください。
 もっともよくあてはまるものを、以下1～5の中からそれぞれ1つずつ選んでください。

選択肢の意味： 1.全くあてはまらない 2.あてはまらない 3.どちらともいえない
 4.あてはまる 5.非常にあてはまる

○ ストレス耐性	・困難に直面しても、耐えられる	1	2	3	4	5
	・大抵のことは、何とか耐えて考えている	1	2	3	4	5
○ リスクテイク精神	・リスクを恐れない	1	2	3	4	5
	・失敗の可能性があっても、成功のためなら実行する	1	2	3	4	5
○ 自負	・自分は有能な方だと思う	1	2	3	4	5
	・これまで自分が積み重ねてきた経験に自信がある	1	2	3	4	5
○ 外向性	・アドバイザーをもらう人が様々な分野にいる（社内・外問わず）	1	2	3	4	5
	・フットワークが軽く、すぐに行動する	1	2	3	4	5
	・どんな人ともコミュニケーションがとれる	1	2	3	4	5
○ 人格的特性	・公私問わず、頼りにされることが多い	1	2	3	4	5
	・人から好まれる方だと思う	1	2	3	4	5
○ 成果志向	・何事も達成しなければ意味がないと思う	1	2	3	4	5
	・どんな責務でも最後までやり通し、とりかかったことは必ず終わらせる	1	2	3	4	5
	・周囲の批判、反対等に簡単には屈しない	1	2	3	4	5
	・よりよい状態を目指して、常にブラッシュアップする	1	2	3	4	5
○ 顧客志向	・誰が商品やサービスを使う人かを具体的に考える	1	2	3	4	5
	・顧客の情報を収集するために時間をかける	1	2	3	4	5
	・顧客の満足度を重視する	1	2	3	4	5
○ 知識の獲得	・業務知識、業務における専門知識やスキルを高めるための努力を怠らない	1	2	3	4	5
	・自分の業務と直接関連しない分野の情報収集を行う	1	2	3	4	5
○ ロジック・定量化志向	・論理的に人を説得する	1	2	3	4	5
	・感情や印象で物事を判断しない	1	2	3	4	5
	・物事をデータに基づき、定量的に分析する	1	2	3	4	5
○ 感性	・自分の思いを伝え、相手の心に訴えかけるストーリーで人を説得する	1	2	3	4	5
	・他者の協力を得るためには、ロジックよりも思いが重要	1	2	3	4	5

○ 多様な経験	・社外の有識者やキーパーソンと対話した経験	1	2	3	4	5	6
	・社内の役員等の上位者と対話した経験	1	2	3	4	5	6
	・社内の他部門と連携して仕事をした経験	1	2	3	4	5	6
	・グループ会社や関連会社と連携して仕事をした経験	1	2	3	4	5	6
	・他社、大学等と連携して仕事をした経験	1	2	3	4	5	6
	・顧客と一緒に課題を遂行した経験	1	2	3	4	5	6
	・厳しい要求をする顧客と仕事をした経験	1	2	3	4	5	6
	・学会発表や論文の執筆を行った経験	1	2	3	4	5	6
	・異動を繰り返して、様々な分野で仕事をした経験	1	2	3	4	5	6
	・転職経験	1	2	3	4	5	6
	・海外留学・海外勤務経験	1	2	3	4	5	6
	・他社への出向経験	1	2	3	4	5	6
	・外国人と協力、もしくは交渉する仕事をした経験	1	2	3	4	5	6
	・周囲と競争する環境で仕事をした経験	1	2	3	4	5	6
	・多くの反対、批判に適切に対応し、何かを成し遂げた経験	1	2	3	4	5	6
	・労働組合の役員や従業員代表として活動した経験	1	2	3	4	5	6
○ 育成した・された経験	・尊敬できる上司・先輩と一緒に働いた経験	1	2	3	4	5	6
	・経験がないにもかかわらず、挑戦的な仕事を任せられた経験	1	2	3	4	5	6
	・仕事を任せてもらい、悩んだ際に明確な指示をもらった経験	1	2	3	4	5	6
	・自分に対する期待や信頼している旨を提示してもらった経験	1	2	3	4	5	6
	・部下、後輩の育成に苦勞した経験	1	2	3	4	5	6
	・上司から、組織管理・運営などについて意見を聞かせる機会を与えられた経験	1	2	3	4	5	6
	・O f f i c e や自己啓発によって職業能力が向上した経験	1	2	3	4	5	6
○ 失敗・挫折経験	・「あの失敗が今の自分の糧となっている」というような失敗経験	1	2	3	4	5	6
	・上司をはじめ、周囲に適切な評価をされなかった経験	1	2	3	4	5	6
	・降格された、左遷させられたと感じた経験	1	2	3	4	5	6
○ 学生時代の経験	・部活動等（部活、サークル、学生団体等）で集団を率いた経験	1	2	3	4	5	6
	・何かを成し遂げた成功体験（学業、スポーツ、学外活動問わず）	1	2	3	4	5	6
	・今の仕事に役立つ知識・スキルを身につけた経験	1	2	3	4	5	6
	・独創性のある論文を執筆した経験	1	2	3	4	5	6

設問は、次ページに続きます

○ 獲得能力		1	2	3	4	5
・ 自ら方向性を示し、周囲に適切な指示を出すことが得意		1	2	3	4	5
・ 自分が管理する部門で理念や目標を浸透、共有させ巻き込むことが得意		1	2	3	4	5
・ 目標を明確に設定することが得意		1	2	3	4	5
・ 進捗管理をきちんと行い、適宜フォローも行き、周囲の不安を取り除くことが得意		1	2	3	4	5
・ 部下が仕事に取り組みやすい環境づくりを心掛けている		1	2	3	4	5
・ 部下の育成に関して、自分なりのノウハウがある		1	2	3	4	5
・ 部下の育成に関して、その人の特性に合わせた指導を行うことができる		1	2	3	4	5
・ 市場、業界、技術、他社動向など情報を収集することが得意		1	2	3	4	5
・ 経営、財務指標などを読み解き、事業等に役立てることが得意		1	2	3	4	5
・ ビジネス的なチャンスや可能性を求めることが得意		1	2	3	4	5
・ 競争環境や動向を読み解き、事業に役立てることが得意		1	2	3	4	5
○ その他						
・ これまでの職業キャリアに満足している		1	2	3	4	5
・ 職業キャリアを通じて職務遂行能力が高まった		1	2	3	4	5
・ 自らが働きかけることによって組織の生産性が高まっている		1	2	3	4	5
・ 現在の賃金水準に満足している		1	2	3	4	5
・ 組織を背負っていくという自覚がある		1	2	3	4	5
・ 転職を通じてキャリアを積み重ねることが重要		1	2	3	4	5

問 16. 近年の管理職に不足している能力・資質は何だと思えますか (○はいくつでも)。

日常的な業務管理・統制力 (業務配分、進捗管理等)	1
新たな事業や戦略、プロジェクト等の企画・立案力	2
部下や後継者の指導・育成力 (傾聴・対話力)	3
組織の活性化を促す動機づけ力	4
経営方針や事業計画等の理解・説明、伝達力	5
日常的な職場の課題の解決力	6
情報の重要性の判断力、リスク管理能力	7
組織内外との利害調整・交渉力、人脈力	8
専門性、創造性	9
積極性、挑戦意欲・バイタリティ	10
リーダーシップ、統率・実行力	11
グローバルな視野や国際コミュニケーション力	12
健康・ストレス管理能力	13
その他 (具体的に)	14
とくにない	15

質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました

別添の【返信用封筒】(切手不要)へ入れ、2014年2月25日(火)までに郵便ポストにご投函ください。